

# 大山の森だより

2017年  
冬号

## 大山に冬がやってきた！



近年では珍しく、12月の初旬から大山寺周辺に積雪があります。12月23日のスキー場開き祭にはたくさんの方が来られ、白銀の世界の初滑りを楽しみました。

2017年のナナカマドは昨年と同じく豊作でした。2017年は1月と2月に2度の大雪に見舞われた大山ですが、2018年はどうでしょう？「ナナカマドが豊作の年は大雪」という大山の言い伝えは2018年も当たるのでしょうか？

2017年の大山初冠雪は10月30日。ほぼ平年並みでした。

### 秋期 自然ふれあい事業 活動報告

#### 大山・秋の木の实・草の実観察会 植物たちの命の伝え方 (9/30)



大山寺周辺の森で、様々な木の实、草の実を観察しました。エゴの实のシャボン実験やオニグルミの割り方が好評。

#### 大山寺秋祭り 大山古道「坊領道」ウォーク(10/24)



坊領道の一部、仁王堂公園から佐摩集落までを景色や遺跡を楽しみながら歩きました。秋祭りの護摩法要に感動。

#### 秋の溪畔林を歩く。 山陰の奥入瀬「木谷沢」(11/15)



晩秋の木谷沢で、落ち葉を探しながら散策しました。楓の紅葉が美しく、溪流に映えました。溪流沿いの巨木が圧巻。

#### 大山・秋の野鳥観察会 冬鳥を見つけよう (11/26)



ゲストハウス寿庵との共催。大山寺集落周辺で冬鳥を観察しました。小鳥の群れを襲う猛禽の姿も観察できました。

#### 木の实リースを作ろう (12/16)



親子が多数参加。大山山麓で拾った木の实や落ち葉を使ってリースづくりを体験しました。作品は各自持ち帰り。

#### 木の实リースを作ろう (12/16)



素材の植物についてスタッフが解説した後、素材選び。たくさん素材を使って素敵な作品ができました。

■自然公園財団では、季節ごとに観察会などを開催しています。  
予約なしでも参加できるイベントもありますので、是非ご参加ください。  
裏面にイベント情報を掲載しています。

# 大山寺集落で繁殖する冬鳥「ジョウビタキ」

中国地方の独立峰である大山には、山麓に広がる豊かな自然を指して様々な鳥が集まってきます。春から初夏にかけて繁殖のために主に暑い地域から渡ってくるのが夏鳥。秋から初冬にかけて冬越しのために主に寒い地域から渡ってくるのが冬鳥です。

冬鳥の多くは群れで渡ってくる種類が多いのですが、単独で渡ってくる鳥もいます。その代表的な冬鳥がジョウビタキです。ジョウビタキは、スズメより少し小さいサイズのヒタキ科の鳥です。オスメスともに翼に白い斑があり、「紋付」と呼ばれることもあります。オスは胸から腹が橙色で、頭部が銀白色をしています。高齢で銀髪の男性を昔は「尉(じょう)」と呼んだことがジョウビタキの名前の由来です。あまり人を恐れず、冬には街の緑地でもふつうに見られます。時々、ピョコンとおじぎをして尾を震わせ、澄んだ声でヒッ、ヒッ、時にカッカッと低く鳴く姿を見たことがある方は多いかもしれません。



5月22日に大山寺集落で撮影



初夏の大山寺

ジョウビタキは中国東北部などで繁殖し、越冬のため日本に渡って来ますが、近年、日本各地で初夏に繁殖する個体が確認されるようになりました。

大山寺集落では2017年に3か所で繁殖が確認されました。そのためかつては聴くことのできなかつた繁殖期のさえずりが集落内で聴かれるようになりました。「ピーヒョロピ、ヒヨ、チチ」と思った以上に良い声でさえずります。

雪とともに大山寺集落内のジョウビタキはすそ野の森に移動しました。しかし春には繁殖のために戻ってきますので、ぜひそのかわいい姿と美しいさえずりを聴きに大山までお越しください。

## ●マムシグサとナナカマドの秘密

赤い色は鳥が易く見つけやすいため、鳥に種を運んでもらう植物は赤い実を付けることが多いです。

白い雪の中に赤い実が目立つ植物として、ナナカマドとマムシグサが挙げられます。食べ残されるから目立つのですが、その理由はナナカマドの場合はまずいから、マムシグサの場合は舌やのどを突き刺すような毒があるからです。この強い毒のあるマムシグサの実を好んで食べる鳥として知られているのがジョウビタキです。

食べ残されていたナナカマドも餌が少なくなる3月ごろには食べつくされ、雪解けのころに顔を出したマムシグサの赤い実は鳥たちがついばみます。マムシグサは完熟すると毒が薄れるようですが、食べてみるようなことはしないでください。



マムシグサ



ナナカマド



# 大山の冬の虫たち 雪の上でも元気です！

## セッケイカワゲラ

翅が無くて黒いのが特徴。1月から2月に出現。日中、雪渓を上流に向かって歩いています。



※セッケイカワゲラとクロカワゲラは川の上流で産卵しますが、幼虫時代に下流に流されてしまいます。それで成虫になってから雪の上を歩いて上流を目指します。

## クロカワゲラ

翅はあっても退化しているため、飛ぶことが出来ず、雪の上を歩いています。セッケイカワゲラより遅く、3月ごろに現れます。



## ガガンボ

見た目は普通の蚊を一回り大きくしたような虫ですが、別の種類。蚊のように動物の血を吸う事はありません。暖かくなると活動します。



※ガガンボの仲間は極めて種類が多く同定は難しいです。

## クモガタガガンボ(ユキガガンボ)

羽がないガガンボの仲間。0度前後が活動適温。1月から2月に雪の上を歩いています。息を吹きかけると死んだふりをします。

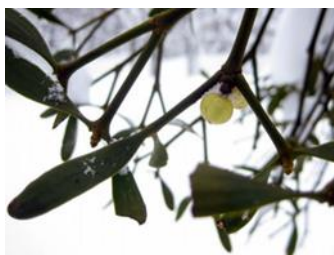


## トビムシ(ユキノミ)

木の屑と間違うぐらいとても小さな虫。木の根元に多くいます。鳥やカワゲラの餌食になることも…。つつくとピンッと跳ねます。



冬に現れる昆虫は、寒さに強いのではなく、寒くないと生きられない生き物です。手のひらなどに乗せて観察していると暑さで弱ってきますので、短時間にしてあげてください。




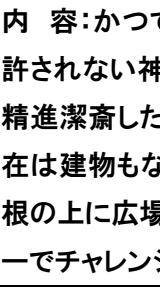

## ●冬に目立つ木の実「ヤドリギ」

冬になると木々の間で目立つこもこした緑の丸い物体。それはヤドリギです。落葉樹に寄生し、その幹から水分などを吸い取って生育しています。よく見るとうす黄色い実が付いています。ヒヨドリやヒレンジャク等の野鳥がこの実を食べますが、ほとんど消化することはできません。体内から出た粘り気のある種が樹皮上に張り付くことで、根を下ろし、寄生がはじまります。 ※実は人間も食べられます。ほんのり甘いのです。

# ーイベント情報（1月～3月）ー



■自然公園財団のイベント（予定 2017年12月28日現在）

<p><b>スノーシューで行く大山・幻の滝（稚児滝）</b>                  開催日：1月27日（土）9:00～13:00頃                  会場：大山寺周辺                  集合場所：大山情報館1F自然公園財団前                  参加費：2000円 食事付                  別途：スノーシューレンタル料1000円</p>		<p>内容：かつて呼滝山と呼ばれた豪円山。その幻の滝を見に行きます。垂直の岩壁に張り付く氷が神秘的な美しさ。スノーシューでしか行けない大山の隠れた名所です。</p>
<p><b>スノーシューで行く天狗屋敷（求聞持堂）</b>                  開催日：2月10日（土）9:00～13:00頃                  会場：大山寺周辺                  集合場所：大山情報館1F自然公園財団前                  参加費：2000円 食事付                  別途：スノーシューレンタル料1000円</p>		<p>内容：かつて大山は選ばれた6名の僧侶しか登ることを許されない神聖な山でした。その僧侶たちが登山の前に精進潔斎した場所が求聞持堂、通称、天狗屋敷です。現在は建物もなく、行く道ありませんが、大山寺を望む尾根の上に広場が残っています。その天狗屋敷にスノーシューでチャレンジします。</p>
<p><b>冬芽観察会 春の気配を探そう 雪の中のひな祭り</b>                  開催日：3月3日（土）9:00～13:00頃                  会場：大山寺周辺                  集合場所：大山情報館1F自然公園財団前                  参加費：2000円 食事付                  別途：スノーシューレンタル料1000円</p>		<p>内容：大山の森を春の気配を探しにスノーシューを履いて散策します。冬芽をお雛様に見立てて写真を撮り、甘酒とヒナあられで雪の中のひな祭りを楽しみます。</p>

## ■周辺のイベント■

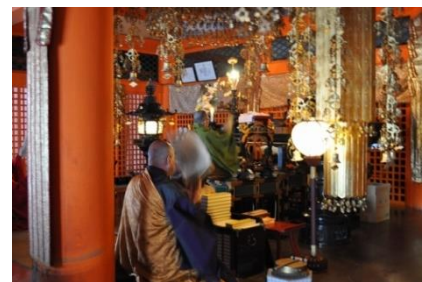
### 「大山寺節分会」

**2月3日（土）10:00～ 会場：大山寺本堂 参加費無料**

大山寺では毎年2月3日に、本堂で「節分会」という法要を行っています。節分会では大般若経600巻の※転読と豆まきが行われ、邪気を払うとともに福を招き寄せます。

深い雪に覆われた大山の神聖な行事にご参加ください。参加は自由です。

※転読とは、大般若経を弧を描くようにバラバラバラっと流し読む事。



### 伯耆国「大山開山1300年祭」

大山は、養老2年（718年）、金蓮上人によって開山されました。以来、山岳仏教の聖地として信仰を集め、豊かな自然が護られてきました。鳥取県の名峰「大山」が2018年に開山1300年を迎えるにあたり、大山山麓地域の自治体、観光、経済団体等官民が一体となって、伯耆国「大山開山1300年祭」を展開します。

様々なイベントが大山を中心に企画されていますのでご期待ください。



一般財団法人 自然公園財団 鳥取支部 大山事業地  
 〒689-3318 鳥取県西伯郡大山町大山40-33(大山情報館1階)  
 TEL:0859-52-2165 FAX:0859-52-2370  
 URL <http://www.bes.or.jp/daisen/>